

Finovate Europe 2018 にみる

フィンテックの最新動向

Short Review
2018年5月30日投資工学研究所
田中 良典
佐藤 史仁

■ Finovate とは、2007 年から続いている金融関連の最先端のイノベーションを紹介するカンファレンスで、ニューヨーク、サンノゼ、ロンドン、香港等での開催の他、本年からドバイとケープタウンでの開催も予定されている世界最大級のフィンテックのピッチイベントである。また、本年の Finovate Europe では、2 日間のデモセッションに加えて、2 日間のセミナーセッションが追加され計 4 日間のイベントとなった。本稿では昨年に引き続き、本年 3 月に開催された Finovate Europe 2018 の参加報告を行う。

1. Finovate Europe 2018 について

本年の Finovate Europe は、合計 68 社のフィンテック企業が登壇し、その内訳は欧州域が 51 社、欧州外からは 17 社で、昨年（欧州域 49 社、欧州外 22 社）と比べ、欧州外から参加する企業が減少した。国別の参加企業数トップはイギリスに本社を持つ企業で 20 社（昨年は 14 社）であった。参加企業の創業年数を見ると、全企業の平均が 11.0 年（昨年は 9.4 年）と 1 年以上延びているが、最も創業年数が長い 107 年（IBM 創業 1911 年）を除外すると 9.6 年であり、また、その内訳についても創業 5 年以内が 36 社（昨年は 33 社）、創業 20 年以上が 12 社（昨年は 10 社）と昨年からあまり変化がなかった。また、参加企業全 68 社のうち、22 社は昨年も参加している企業であった。

登壇企業の特徴を示すキーワードの集計（表 1）を見ると、APIs/SDKs、Open Banking や、AI、Machine Learning、Analytics/Big Data Visualization といったワードが上位に来ているが、本年の登壇企業のサービスの特徴については以下の 2 点が挙げられる。1 点目の特徴は、欧州の規制改正に後押しされたオープンバンキングに関係するサービス提供が昨年に引き続き多かったことである。第 2 次決済サービス指令（PSD2）¹は既に EU 加盟国の国内法化の期限である 2018 年 1 月を迎えている。また、同年同月に施行された第 2 次金融商品市場指令（MiFID II）²や、本年 5 月より適用開始された一般データ保護規則（GDPR）³に関係するサービスも散見された。2 点目の特徴は、「データ」である。本年に

¹ Directive (EU) 2015/2366 of the European Parliament and of the Council of 25 November 2015 on payment services in the internal market, amending Directives 2002/65/EC, 2009/110/EC and 2013/36/EU and Regulation (EU) No 1093/2010, and repealing Directive 2007/64/EC

² DIRECTIVE 2014/65/EU OF THE EUROPEAN PARLIAMENT AND OF THE COUNCIL of 15 May 2014 on markets in financial instruments and amending Directive 2002/92/EC and Directive 2011/61/EU

³ Regulation (EU) 2016/679 of the European Parliament and of the Council of 27 April 2016 on the protection of natural persons with regard to the processing of personal data and on the free movement of such data, and repealing

において AI 技術は所与のものとなった感があり、様々なビックデータに対し AI 技術を応用するようになったことで、昨年には余り見られなかったよりきめ細やかな、より個を対象としたサービスを提供する例が見られた。また、Finovate Europe 主催者による今年の総括⁴や Best of Show に関する総評⁵を見ても、参加企業の共通テーマが「データ」であったとコメントしている。以降では、この2つの視点から Finovate Europe 2018 にみる欧州のフィンテック最新動向を紹介したい。

表 1. 登壇企業のキーワード集計 TOP10

分類	1～5位	分類	6～10位
AI	32%	Analytics/Big Data Visualization	18%
APIs/SDKs	29%	Insuretech	15%
Open Banking	26%	Sales & marketing	15%
Machine Learning	21%	Biometrics	13%
Risk Management/Compliance	19%	Wealth Management	13%

注) 登壇企業数に対する割合。1 企業に対して複数のキーワード有り
出所) Finovate Europe 2018 資料より日興リサーチセンター作成

2. 規制改正を背景としたフィンテックサービスの拡大

EU 決済サービス指令 (PSD)⁶ は、決済サービスの一層の効率化と、統一的な EU 決済サービス市場を創出することを目的に、決済サービス業を担う業者(銀行、電子マネー機関、本指令で定められた決済サービス機関など)を決済サービス提供者として枠組みを揃え、2007 年 11 月に成立した⁷。しかしながら、情報通信技術の発達に伴い、これまでの枠組みでは定義されていない新たな決済サービス業者が出現した。そこで、第 2 次決済サービス指令 (PSD2) では、これらの業者を中間サービス業者として新たな枠組みを定義し、決済の安全性の担保など規制をかけると同時に、先の決済サービス提供者に対しては、不正取引等の正当な理由がない場合に中間サービス業者からの要請に対して、顧客口座データへのアクセスを容認するように規定している⁸。これらによって、フィンテック企業が銀行等の顧客データを利用して、より利便性の高い金融サービスを提供するなど、EU 域におけるフィンテックイノベーションやオープンバンキングの流れを加速していると考えられる。例えば NDGIT 社⁹は、銀行や保険会社向けに PSD2 に準拠した API や、ロボアドバイザー、口座統合など多数のオープンバンキングソリュー

Directive 95/46/EC

⁴ FINOVATE BLOG <http://finovate.com/data-or-die/> を参照。

⁵ 登壇企業に対し Finovate の参加者の人気投票で 7 社選出された。

<http://finovate.com/finovateurope-2018-best-show-winners-announced/> を参照。

⁶ DIRECTIVE 2007/64/EC OF THE EUROPEAN PARLIAMENT AND OF THE COUNCIL of 13 November 2007 on payment services in the internal market amending Directives 97/7/EC, 2002/65/EC, 2005/60/EC and 2006/48/EC and repealing Directive 97/5/EC

⁷ 詳しくは例えば、吉村昭彦・白神猛[2009]「欧州における決済サービスの新たな法的枠組み：決済サービス指令の概要」,日本銀行金融研究所,金融研究,2009.3,pp.119-172

⁸ 「Finovate Europe 2017 にみるフィンテックの最新動向」 <https://www.nikko-research.co.jp/library/5958/>

⁹ NDGIT 社 HP <https://nextdigitalbanking.com/>

ション API をサービス展開しているだけでなく、それらと接続できる API プラットフォームも提供していた。

さらに市場の透明性向上を目的とした第 2 次金融商品市場指令（MiFID II）の施行や、EEA 域内で取得した個人に関するデータの加工と域外への持出しを規制した一般データ保護規則（GDPR）も、EU 域でのフィンテック企業を少なからず後押ししている。例えば、Be-IQ 社¹⁰が心理学の学術的研究に基づき開発した行動リスクプロファイリング手法は、より個人に即した適合性評価を行え、MiFID II に対応したツールとなっていた。因みに Be-IQ 社は本年の Best of Show 受賞企業の 1 つである。また、Exate Technology 社¹¹はブロックチェーンの技術を利用し、GDPR に準拠したデータ管理サービスを発表していた。

3. ビックデータの多様化にみるフィンテック最新動向

最初に述べたとおり、本年 Finovate Europe のもう一つのキーワードは「データ」であり、これには AI 技術が標準技術となったことが背景にあると思われる。各企業が自らの入力データや目的にあった AI 技術を適用・分析することで、様々なビッグデータが扱われるようになり、提供されるサービスが差別化・高度化され、より個をサービス対象とする領域へ進んだと感じた。実際、昨年 AI 技術を導入していなかったが、今年の発表までに導入を間に合わせ、新たなサービス提供をする事例もあった（Wealth Wizards 社¹²）。AI もしくは Machine Learning と同時に多く挙げられていたキーワードを見ても Analytics/Big Data Visualization が挙がっている（表 2）。具体例としては、マウスの動きなどから機械学習によって個人を特定し、口座乗っ取りのリスクを検知（IBM 社¹³）や、画面タッチの癖などから機械学習により個人を認証（SecuredTouch 社¹⁴）などがあった。これらは、Behavioral Biometrics（行動生体認証）と呼ばれ、行動のクセというデータから個人を識別する。また、顧客属性情報から機械学習でプロファイリングしパーソナリティの分類を行うことで、コンテンツは一緒でも文の表現や付随するイラストを個人ごとに変えた DM メールを作成（DataSine 社¹⁵）や、個人のリスク選好度を測る際の質問が、答えの選択ごとに変化する（前出の Be-IQ 社）など、ビッグデータと AI 技術を用いることで、より個人を対象とした多様なサービスが提供されるようになってきたと言えるだろう。その他、ICO（Initial Coin Offering）に関連した様々なツールを備えたプラットフォームを提供する SMART Valley 社¹⁶や、流動性の低い資産を対象とし、ブロックチェーン技術による暗号化とそれらを取引する分散型の市場を提供する SMART VALOR 社¹⁷など、昨年見られなかったサービスを展開する企業も見ら

¹⁰ Be-IQ 社 HP <https://beiq.co.uk/about.html>

¹¹ Exate Technology 社 HP <http://www.exatetech.com/>

¹² Wealth Wizards 社 HP <https://www.wealthwizards.com/>

¹³ IBM 社 HP <https://www.ibm.com/security>

¹⁴ SecuredTouch 社 HP <https://securedtouch.com/>

¹⁵ DataSine 社 HP <https://datasine.com/>

¹⁶ SMART Valley 社 HP <https://www.smartvalley.io/>

¹⁷ SMART VALOR 社 HP <https://smartvalor.com/>

れた。全体の概要は表 3 を参照されたい。

表 2. AI 又は Machine Learning と同時に多く挙げられていたキーワード

Analytics/Big Data Visualization	Sales & marketing
APIs/SDKs	Biometrics
Risk Management/Compliance	Insuretech
Open Banking	Mobile payments
Regtech	Security

出所) Finovate Europe 2018 資料より日興リサーチセンター作成

4. おわりに

本年よりセミナー・講演等のセッションが Finovate イベントの 3、4 日目に追加された。最後にこのセッションについて概要を述べたい。午前は基本的に大会場での講演や討論で「金融サービスにおける AI の将来」、「Fintech Regulation の将来」、「何故 Blockchain は次世代インターネットなのか」、「サイバーセキュリティ」など 2 日間で幅広いテーマが扱われた。また、当初の予定にはなかったサウジアラビア総合投資院による、サウジアラビアにおける Fintech 計画についての講演もあった。午後はテーマごとにブースに分かれディベート形式での討論等が行われた。イベント 3 日目のテーマの柱は、「Banking」、「Regtech」、「Investing」、「New Tech」の 4 つ、イベント最終日のテーマの柱は、「Payments」、「Digital Lending」、「New Tech」の 3 つであった。聴講した講演の中で最も人気の高かった講演は「What Are Digital Giants Apple, Facebook, Amazon, Alipay & Tencent Going To Do To Payments? Who Will Disrupt Them?」で、概して言えば、世界中でサービス展開をしているがペイメントインフラが不十分である巨大デジタル企業 GAFA (Google, Apple, Facebook, Amazon) と、サービス展開は地域が限られているがペイメントインフラを既に整備しつつある中国系企業とを比較考察する内容であった。ピッチイベントに比べ少なくなった参加者であったが、この講演はほぼ満席に近い状態であった。やはり、フィンテックスタートアップ企業の最新トレンドだけでなく、巨大デジタル企業のフィンテックに関する動向に対しても関心が高いことの表れだったのかもしれない。(END)

表 3. Finovate Europe 2018 参加企業と発表されたプロダクトの概要

企業名	本社所在地	創業 (年)	発表されたプロダクトの概要 (関連キーワード)
3rd-eyes	スイス	2015	3rd-eyes goal-based wealth planning system (ゴールベースの資産管理システム)
aixigo	独	1999	Digital Financial Portfolio Management Backoffice (資産管理プラットフォーム)
Anorak Technologies	英	2016	Anorak (生命保険助言サービス)
ApPello	ハンガリー	1998	ApPello Loan Factory (ローン業務の自動化等のソリューション)
Avaloq	スイス	1985	Avaloq Goal Based Wealth Management (ゴールベースの資産管理)
BACKBASE	オランダ	2003	Customer OS (デジタルバンキングプラットフォーム)
Be-IQ	英	2014	Behavioural IQ (行動リスクプロファイリング)
Bpm'online	米	2002	Bpm'online financial services (CRM)
Braintri	ポーランド	2013	Jiffie (端末を選ばないモバイルトランザクション)
CASHOFF	英	2013	CASHOFF (消費者データ収集や購買予測)
Charlie-India	ハンガリー	2015	Charlie-India Invoice HUB (電子請求書に関するバックエンドプラットフォーム)
CREALOGIX	スイス	1996	Gravity (カスタマーバンキングプラットフォーム)
DataSine	英	2015	Pomegranate (AI/パーソナライゼーションプラットフォーム)
DFT Empower	米	2017	ONYX v5 (モバイルバイオメトリックソフトウェア)
DSwiss AG	スイス	2008	Privacy-protected one-to-one collaboration for bank clients and advisors (ドキュメント、情報管理)
Dynamics	米	2007	WalletCard™ (機能選択付ペイメントカード)
ebankIT	ポルトガル	2014	ebankIT Platform (オムニチャネルデジタルバンキングソリューション)
Efigence	ポーランド	1995	EF14 Analytics (データの収集及び分析を行うWeb解析ツール)
Electronic Identification	スペイン	2016	VideoID (ビデオによるセキュリティ認証)
Envestnet	米	1999	Envestnet Envision™ IQ (資産管理ソリューション)
Exate Technology	英	2015	Secowser (暗号化によるドキュメント管理)
Fintech OS	英	2014	Fintech OS Artificial Intelligence (Fintechアプリケーションプラットフォーム)
Five Degrees	オランダ	2009	Digital Wealth Management Solution - Prosperity (資産管理ソリューション)
Fortytwo Data	英	2015	Fortytwo data (Anti-Money Laundering プラットフォーム)
Google & KBC Bank Ireland	米/アイルランド	1973	Instant Account Opening (口座開設及びペイメントアプリケーション)
hooyu	英	2016	HooYu Verification Technology (身元検証プラットフォーム)
Horizon	カナダ	2012	Horizon Employee Knowledge Platform and Horizon Customer Knowledge Platform (ナレッジプラットフォーム)
Hydrogen	米	2017	Hydrogen (資産管理プラットフォーム)
IBM Security	米	1911	IBM Trusteer New Account Fraud (新規アカウント詐欺防止セキュリティソリューション)
ING Bank Śląski	ポーランド	1989	Online Insurance for SME and Mid-Corp Clients (中小企業向けオンライン保険サービス)
Intelligent Environments	英	1985	Interact Collect (債回収管理)
iProov	英	2011	iProov ID-Matcher and iProov Verifier (リモートIDチェック及びフェイスバイオメトリクス認証)
ITSector	ポルトガル	2005	ITSCREDIT (金融機関向けFull Credit Process Control)
JuicyScore	ロシア	2016	JuicyScore (リスク分析プラットフォーム)
Kinetica	米	2017	Kinetica's GPU-Accelerated In-Memory Database (high performance database and ML platform built on GPU)
Lleida.net	スペイン	1995	eKYC onboarding (KYCオンボーディングシステム)
Meniga	英	2009	The Richest Transactions (カスタマーサティスファクションを意識したトランザクション機能)
Microblink	英	2011	BlinkReceipt (モバイルレシートスキャナーアプリ)
NDGIT	独	2016	Ecosystem Builder (アプリケーションストアの開設を可能にする)
NF Innova	オーストリア	2013	iBanking Opti-channel Bot (チャットボット上での自動化されたローン認証プロセス)
Ondot Systems	米	2011	CardControl (カードによるペイメントの管理サービスアプリ)
Onfido	英	2012	Facial Check with Video (顔 (映像) と声等によるセキュリティ認証)
Opentech	イタリア	2003	OpenPay for business (中小企業向け決済サービスアプリ・経費管理システム)
Plutus.it	英	2016	Plutus Tap&Pay, PlutusDEX (仮想通貨決済モバイルアプリ、スマートコントラクト)
Progress	米	1981	Progress NativeChat (チャットボット)
Pushfor	英	2013	Push2Link (セキュリティ、ドキュメント管理)
Qover	ベルギー	2016	Qover (Insurance As A Service プラットフォーム)
QUADIENT	スイス	1994	Quadient Inspire (チャットボットを利用したデジタルバンキング)
Salt Edge	カナダ	2013	Priora PSD2 and Open Banking Solution (SaaS-based PSD2 and open banking solution)
SecuredTouch	イスラエル	2015	U-nique (行動生体認証)
Sensibill	カナダ	2013	Receipts for Microbusinesses (領収書管理ツール)
SimplaVivo	イタリア	2016	eZilly (e-commerce personal assistant)
SMART Valley	ロシア	2017	SMART Valley (ICOプラットフォーム)
SMART VALOR	スイス	2017	SMART VALOR Network (ブロックチェーン技術に基づいたオルタナティブ資産のマーケットプレイス)
Smartify.it	独	2018	smartify.it (ブロックチェーン技術及びスマートコントラクトを利用するソフトウェアプラットフォーム)
Solna	英	2017	Solna (中小企業向け決済サービス)
TESOBE Open Bank Project	独	2005	PSD2 engine (オープンソースAPI)
Thought Machine	英	2014	Vault (クラウド上で稼働するバンキングシステム)
ti&m & clevercircles	スイス	2005	clevercircles (ポートフォリオのアセットアロケーション)
Touché	シンガポール	2014	Touché (指紋認証のみによるペイメントシステム)
Twisto	チェコ	2013	Twisto Account with credit card (クレジットカード、クレジットアカウント)
unblu	スイス	2008	unblu customer engagement & collaboration suite (オンラインのバンキングコンサルテーション)
Vipera & Mastercard	イタリア/米	1996	SME-pay (中小企業に特化したmobile payment solution)
W.UP	ハンガリー	2014	Sales.UP (personalised banking sales solution)
Wealth Wizards	英	2009	turo (AI投資運用助言)
YellowDog	英	2015	YellowDog for Financial Services (ハイパフォーマンスコンピューティングプラットフォーム)
Yoyo	英	2013	Retailer-specific bank card loyalty (DMP、ポイント付与)
YUKKA Lab	独	2009	YUKKA News & Trend Lab (ニュース解析)

出所) Finovate Europe 2018 資料より日興リサーチセンター作成